

趣意書

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、東北地方の沿岸部を中心に、非常に広い範囲で甚大な被害を受け、多くの方がお亡くなりになり、また、未だに安否確認のできない方が一万人を超す状況です。

お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りしますとともに、一人でも多くの方の生存と救出をお祈りするものです。

また、避難を余儀なくされている多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

このような未曾有の災害を目の当たりにして、被災された皆様のご心痛とご労苦を思いますと、私どもも胸が締め付けられる思いです。

この危機的状況にあって、日本国民の一人として救援救出活動や全国規模の支援活動に全面的に協力することはもちろんのこと、宇部市民として先人から引き継いできた「共存同栄・協同一致」という宇部の精神を被災された皆様と共有すべく、宇部市並びに宇部市民として独自にできる支援にも取り組んでいきたいと強く思うものです。

そのため、ご賛同いただける多くの各種団体・グループ等の皆様と「東北関東大震災被災地支援宇部市民協働会議」を設立し、この組織を中心として全市民を挙げて被災地支援に取り組んでいきたいと考えますので、何卒本会議設立にご賛同賜りますようお願い申し上げます。

設立発起人

宇部市長

久保田 后子

宇部市議会議長

広重 市郎

宇部商工会議所会頭

千葉 泰久

宇部市自治会連合会会長

藤田 昭一